

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 コーアツ工業株式会社

上場取引所 大証 二部・福証

コード番号 1743 URL <http://www.koatsuind.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 純孝

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 西 成人 TEL (099) 229-8181

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績 (平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	5,399	3.7	130	△ 61.5	135	△ 60.8	133	△ 76.5
23年9月期第3四半期	5,208	△ 23.7	338	965.3	345	2,309.9	565	-

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 129百万円 (△77.2%) 23年9月期第3四半期 567百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	17.56	-
23年9月期第3四半期	74.55	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	10,198	6,009	58.9
23年9月期	10,090	5,917	58.6

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 6,009百万円 23年9月期 5,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	-	0 00	-	5 00	5 00
24年9月期	-	0 00	-	-	0 00
24年9月期 (予想)	-	-	-	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の 連結 業績予想 (平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,661	0.5	126	△ 39.7	102	△ 52.7	91	△ 53.4	12.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式総数（普通株式）

① 期末発行済株式総数（自己株式を含む）	24年9月期3Q	7,600,000 株	23年9月期	7,600,000 株
----------------------	----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	24年9月期3Q	10,090 株	23年9月期	10,090 株
-----------	----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期3Q	7,589,910 株	23年9月期3Q	7,590,976 株
------------------	----------	-------------	----------	-------------

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により悪化した景気が、生産活動及び個人消費の回復により、景気持ち直しが見られるものの、円高の進行、海外景気の回復ペースの鈍化など輸出環境の悪化影響を受け、景気の先行きは不透明な状況であります。

建設業界におきましては、東日本大震災の復旧・復興事業や耐震補強事業等を除けば、公共事業は依然として低水準で推移しており、厳しい受注環境が続いております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は当期経営基本方針として「全社員一丸となり事業採算性の意識を持った業務により収益性のある企業を目指す。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、53億99百万円と前年同四半期に比し1億90百万円（3.7%増）増加しました。経常損益は工事原価の圧縮、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりましたが、経常利益1億35百万円と前年同四半期に比し2億9百万円（60.8%減）減益となりました。四半期純利益は1億33百万円と関係会社株式売却益の計上があった前年同四半期に比し4億32百万円（76.5%減）減少しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 建設事業

当第3四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、43億34百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。主な完成工事は、鹿児島県 街路工事（東餅田2-1-1工区）4億18百万円（うち当連結累計期間完成工事高34百万円）、鹿児島県 県単道路整備（交付金）工事（有川2-2-1工区）3億42百万円（うち当連結累計期間完成工事高1億44百万円）等であります。工事利益率の悪化により営業利益は3億47百万円（前年同四半期比36.7%減）となりました。

#### b. コンクリート製品事業

当第3四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、9億50百万円（前年同四半期比25.6%増）となりました。自社製品売上高の減少により営業利益は15百万円（前年同四半期比56.6%減）となりました。

#### c. 不動産賃貸事業

当第3四半期連結累計期間における不動産賃貸事業の売上高は、94百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。売上高の減少により営業利益は39百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は101億98百万円で、前連結会計年度末に比し1億8百万円増加しました。主な要因は建物等の有形固定資産が92百万円、販売用不動産が40百万円減少した一方、現金預金が1億64百万円、受取手形・完成工事未収入金等が1億40百万円増加したことによるものであります。

負債は41億89百万円で、前連結会計年度末に比し16百万円増加しました。主な要因は長期借入金が2億41百万円、賞与引当金が39百万円減少した一方、支払手形・工事未払金等が4億67百万円増加したことによるものであります。

純資産は60億9百万円で、前連結会計年度末に比し91百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加額95百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月の業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表しました「平成23年9月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	978,198	1,142,266
受取手形・完成工事未収入金等	1,191,693	1,332,428
販売用不動産	136,329	96,118
未成工事支出金	148,922	200,546
商品及び製品	156,593	151,451
仕掛品	5,596	4,228
材料貯蔵品	37,711	26,192
その他	150,811	66,696
貸倒引当金	△887	△3,313
流動資産合計	2,804,970	3,016,615
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,325,036	1,277,966
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	279,662	230,897
土地	4,316,018	4,316,018
建設仮勘定	4,259	7,659
有形固定資産合計	5,924,976	5,832,542
無形固定資産	13,019	33,730
投資その他の資産		
投資有価証券	966,322	958,180
その他	645,566	628,700
貸倒引当金	△264,683	△271,135
投資その他の資産合計	1,347,205	1,315,745
固定資産合計	7,285,201	7,182,018
資産合計	10,090,171	10,198,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,264,340	1,731,342
短期借入金	314,900	340,613
未払法人税等	21,729	17,229
未成工事受入金	343,590	332,129
完成工事補償引当金	5,200	4,900
工事損失引当金	18,300	11,500
賞与引当金	75,507	36,115
その他	668,784	513,820
流動負債合計	2,712,352	2,987,650
固定負債		
長期借入金	1,381,485	1,139,597
その他	78,602	62,150
固定負債合計	1,460,087	1,201,747
負債合計	4,172,439	4,189,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,306,362	3,401,691
自己株式	△3,243	△3,243
株主資本合計	5,900,618	5,995,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,112	13,288
その他の包括利益累計額合計	17,112	13,288
純資産合計	5,917,731	6,009,236
負債純資産合計	10,090,171	10,198,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	5,208,457	5,399,431
売上原価	4,323,874	4,732,949
売上総利益	884,582	666,482
販売費及び一般管理費	545,992	536,181
営業利益	338,589	130,301
営業外収益		
受取利息	172	194
受取配当金	5,761	5,797
受取賃貸料	6,526	5,886
補助金収入	15,595	12,818
その他	11,204	5,873
営業外収益合計	39,258	30,570
営業外費用		
支払利息	29,090	22,527
その他	3,661	3,143
営業外費用合計	32,751	25,670
経常利益	345,096	135,200
特別利益		
固定資産売却益	20,700	—
関係会社株式売却益	222,629	—
特別利益合計	243,330	—
特別損失		
固定資産除却損	—	199
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,709	—
特別損失合計	16,709	199
税金等調整前四半期純利益	571,717	135,001
法人税、住民税及び事業税	15,422	14,074
法人税等調整額	△9,649	△12,352
法人税等合計	5,772	1,722
少数株主損益調整前四半期純利益	565,945	133,278
四半期純利益	565,945	133,278



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	565,945	133,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,792	△3,824
その他の包括利益合計	1,792	△3,824
四半期包括利益	567,738	129,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,738	129,454
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	建設事業	コンクリート製品事業	不動産賃貸事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,293,581	756,940	114,968	5,165,490	42,966	—	5,208,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	96,794	803	97,598	2,227	△99,825	—
計	4,293,581	853,735	115,772	5,263,089	45,193	△99,825	5,208,457
セグメント利益	548,570	36,038	47,653	632,262	△13,919	△279,752	338,589

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△279,752千円は、セグメント間取引消去△26千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,726千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	建設事業	コンクリート製品事業	不動産賃貸事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,334,613	950,462	94,192	5,379,268	20,162	—	5,399,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	149,557	983	150,541	3,015	△153,556	—
計	4,334,613	1,100,020	95,175	5,529,809	23,178	△153,556	5,399,431
セグメント利益	347,087	15,626	39,986	402,700	△2,350	△270,048	130,301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△270,048千円は、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△270,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、セグメント情報におけるセグメント区分は「建設事業」「コンクリート製品事業」「不動産賃貸事業」「食品事業」に区分しておりましたが、「食品事業」は重要性がなくなったことにより「その他」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。